

新総合計画の背景（市の現状、市民意識）



※1 強み＝審議会（第2回）意見、アンケート（市民、高校生、大学生）の暮らしやすい理由（自由意見） 弱み＝同 暮らしにくい理由（自由意見）から主な内容をキーワード化

将来像の方向性

◀◀市民、事業者、市外から応援してくれる人たちと共有する将来像（目指す姿）

将来像の変遷

前々回計画（1996（平成8）～2005（平成17）年度）

「自然、ひと、歴史、みらい、輝く米沢」



前回計画（2006（平成18）～2015（平成27）年度）

「豊かさやすらぎ 共に創りあげる ときめきの米沢」



現行計画（2016（平成28）～2025（令和7）年度）

「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢」



新総合計画（2026（令和8）年度～2035（令和17）年度）

将来のあるべき姿（審議会、アンケート意見）	将来像※2
1. <u>子どもたちが米沢に生まれ育ったことを誇りに思い、自慢できる</u>まち 2. <u>子どもが安全安心に過ごせる</u>まち 3. <u>子どもたちがのびのび笑顔で暮らせる</u>まち 4. <u>学生が輝き暮らしやすく集まりたくなる</u>まち 5. <u>人と人がつながり、心と心がふれあう</u>城下町 6. <u>世代を越えたコミュニケーション</u>があるまち 7. <u>あらゆる世代の市民が楽しく、安心して、それぞれの責務を果たして活動している</u>まち 8. <u>高齢者が活かされる</u>まち 9. <u>健康長寿</u>のまち 10. <u>若者が安心して定住できる</u>まち 11. <u>魅力ある働き場</u>があり、住み続ける若者が増えているまち 12. 歴史や伝統を重んじながら、柔軟に変化し、<u>積極的にチャレンジできる</u>まち 13. <u>地産他消</u>のまち（米沢の良い産品を市外でも消費、米沢の魅力を拡散、米沢に来る人・帰る人の増加） 14. <u>雇用と経済が循環</u>し、産業が活発なまち 15. <u>楽しく過ごせる空間</u>づくり、<u>人が集まれる場</u>づくり（生活空間、憩いの空間など） 16. 交通ネットワーク、<u>公共交通機関が充実</u>している（<u>雪に強い</u>）まち 17. 全ての町内会に機能する防災組織があり、いざという時に<u>みんなで助け合って減災に努める</u>まち（<u>防災ネットワーク</u>づくり） 18. <u>SDGsとウェルビーイング</u>を重視し、特に <u>20代～30代にとって魅力的で生活しやすい</u>まち 19. 現状の市民サービスを維持し、<u>コンパクトシティの中で幸福度を高められる生活</u>を目指すまち 20. <u>自然豊かで緑があふれる</u>まち 21. 各地域の<u>コミュニティ機能</u>が十分に発揮され、<u>地域活性化</u>がなされているまち 22. 地域で活躍しているプレイヤーや諸団体が各所でひとつずつの事業をバラバラに推進するのではなく、様々な事業を有機的につなげ、その上でより<u>包括的かつ効果的な事業に展開し、各コミュニティをつなげ拡大していく</u>まち 23. <u>人々が助け合い愛が溢れる</u>まち	（審議会、よねざわまちづくりフォーラム等の意見を反映して立案）

施策分野の方向性

◀◀◀将来像の実現に向けた施策の柱

